

「呉広島空港線」の運行再開に向けた検討について

1 趣旨

本年4月に一部供用開始した東広島呉自動車道の活用により、本市と広島空港とを結ぶ新たな交通手段を確保し、空港機能と港湾機能との連携強化による呉地域への誘客促進、産業活動等の活性化、広域的な交流・連携の促進等を図るため、バス路線「呉広島空港線」の運行再開に係る検討を開始します。

2 当該路線の必要性

(1) 高次都市機能の充実

高次都市機能を充実し、都市の成長・発展を図るためには、社会経済活動の基盤となる道路や港湾等の整備に加え、鉄道やバス等による公共交通ネットワークの構築が必要不可欠です。



(2) 空港アクセスの強化

県内の4市（広島市、福山市、三原市及び竹原市）では広島空港への交通手段が整備されていますが、本市からは直行便がないため、空港アクセスの強化を図る必要があります。

【他市の空港リムジンバス運行状況】

市名	運行状況			市名	運行状況		
広島市	広島駅新幹線口発着	往路	44 便/日	福山市	福山駅発着	12 往復/日	
		復路	38 便/日	三原市	三原駅発着	12 往復/日	
	広島バスセンター発着	往路	24 便/日	竹原市	竹原フェリー乗り場発着	往路	8 便/日
		復路	31 便/日			復路	7 便/日

(3) 東広島呉自動車道の一部供用開始

東広島呉自動車道の一部供用開始により、広島空港までのアクセスが改善し、定時性・高速性の向上による効率的・効果的な路線運営が可能となりました。

【東広島呉自動車道〔阿賀IC～黒瀬IC間〕の供用開始に伴う効果】

区 分		供用開始前	現在
一般車	呉市役所から山陽自動車道まで	約70分	約50分
路線バス	呉駅前から広島空港まで	約90分	約70分(見込み)

(4) 更なる産業振興・観光振興

呉商工会議所を始めとする地元産業界からも運行再開への強い要望が出ている中、観光客やビジネス客等の利便性を向上させることにより、広域的な交流や連携、呉地域への誘客促進等につながり、本市の更なる産業振興・観光振興に大きく寄与することが期待されます。

3 今後の進め方

国（中国運輸局）及び県と連携を図り、運行再開に係る課題を整理した上で、運行計画及び運行事業者の選定方法等に係る検討を進めます。

【今後の主な事務スケジュール等】

項 目	所要期間
(1) 運行計画の検討（運行経路、運行便数等）	約1か月
(2) 運行事業者の選定手法の検討及び実施	約1か月
(3) 運行準備	約1か月
(4) 中国運輸局への認可申請（事業計画変更認可等）	約2か月
運行開始までに想定される総所要期間	約5か月